

報道機関各位



学校法人

追手門学院

〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町 1-1

プレスリリース No.36

2025年12月4日配信

URL: <https://www.otemon.ac.jp/>

理工／情報・高橋英之准教授が開発。人と交流を生むぬいぐるみロボット 「あいちロボフェス 2025」 ロボタウン・エンタメコーナーに出展

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：真鍋正宏）は、愛知県が2025年12月12日（金）から14日（日）に愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）で開催する「あいちロボフェス 2025」において、理工学部情報工学科・高橋英之准教授が開発したぬいぐるみロボット「伊勢参り犬ロボット」とスイッチロボット「ぽっちゃん」を出展します。

「あいちロボフェス」は、ロボットを見て・触つて・体験できる参加型イベントで、「伊勢参り犬ロボット」と「ぽっちゃん」は、B Labが推進する「ともだちロボット」プロジェクトに参画する5種のロボットとともに、「ロボタウン」エリア内のEntertainment（エンタメ）コーナーに登場します。

高橋英之准教授（専門：認知科学）は「絶対一生味方なパートナーロボットを創る」をテーマに、人工物に対して人が抱く心的反応を、認知科学や情報科学の視点から研究しています。

出展する「伊勢参り犬ロボット」は、ぬいぐるみを被せたペペットロボットで、プログラムにより多彩な動きを実現。江戸時代にあった“犬の伊勢参り”という風習から、犬を介して、人と人が自然につながり合う物語をモチーフに、ロボットを媒介にしたコミュニケーションの創出を目的として開発されました。

ロボットの企画と構想は高橋准教授が担当し、キャラクターデザインやぬいぐるみの制作、CGデザインやロボットの広報活動は理工学部の学生が協働で手がけています。

また、同じく展示を行うスイッチロボット「ぽっちゃん」は、家庭の電気機器を操作する際に「感情表現」や「感謝」の動作を取り入れることで、人とロボットの新たな関係性を模索するロボットで、現在は日本科学未来館にも常設展示されています。

出展場所の「ロボタウン Entertainment -エンタメ-」は、未来の街でロボットがどのように活躍しているのかを、ロボットとキャスト、MCが展開する迫力満点なロボットデモンストレーションショーでご覧いただけます。ショー以外の時間は、ロボットを近くで見たり、触れたり、体験することができます。

【「あいちロボフェス」概要】

会期：2025年12月12日（金）～14日（日）午前10時～午後5時（最終日は午後4時30分まで）

場所：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）展示ホールD（常滑市セントレア5丁目10番1号）

主催：愛知県

料金：入場は無料、一部事前予約が必要なコンテンツあり

詳細はこちら→ <https://robofest.pref.aichi.jp/>

本学側の参加メンバー：理工学部情報学科 高橋英之准教授、理工学部情報学科1年 山城陽世綾さん、栗本環さん、阪本想菜さん、近澤花乃音さん

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL : 072-665-9166 蛭原・織田